

学校教育目標

ふるさとを愛し、共に生き抜く『けやきっ子』の育成

- ①自他を大切にし、ひととつながることや地域のよさを味わう子
- ②主体的に学び、学び合いを楽しみ、考えを豊かに表現できる子
- ③健康や安全に気を付け、粘り強く挑戦する子
- ④適切な援助要請ができる子 **めざす子ども**

- ①あたたかい言葉があふれる、安心・安全な子どもの居場所となる学校
- ②3S（整理・整頓・清掃）が行き届いた学びのよき環境が整えられた学校
- ③成長する喜びや他者とともに活動する喜びを味わい、楽しんで通える学校 **めざす学校**

- ①自らを振り返り背中で語れる子どもの範となる教師
- ②子どもを丸ごと理解し、支え、伸ばそうとする使命感・責任感・実践力をもった教師
- ③得意分野を伸ばし、ともに学び、高め合う教師
- ④服務に厳正で、組織の一員として積極的・建設的な提言や協働ができる教師 **めざす教師**

重点目標

自他を大切にできる『自己指導力』と『主体性』を身に付けた児童の育成

【子ども】人権感覚の涵養、自己指導力・主体性の育成 経営の重点▶自己評価R7以上 【教職員】令和の日本型教育・CSの充実

- 自他を大切にしようとする態度や実践行動力の向上
- 「自己目標設定▶自己解決・協働解決▶振り返り」の日常化による自己指導力（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）の向上
- 自立・自律して行動する力と対人関係スキルの定着・向上
- 地域との関わりに「気づき・考え・実行」する意識・態度の向上

- 発達支持的生徒指導の視点を踏まえた学級経営・授業づくりの徹底・充実
- 同僚性を発揮し、各自の生徒指導力と専門性を高める理論に基づいた研修の日常化
- 徹底した報連相による早期の組織的リスクマネジメント対応と業務効率化・相談体制の充実による良好な労働環境の整備（働き方改革の推進）
- 校区活性化・保幼小中接続に係る中学校区におけるCS取組の充実

もりもりプロジェクト(体)

ここにこプロジェクト(徳)

はきはきプロジェクト(知)

◀けんこうな心・身体とつながりづくり▶

◀やさしい心育成▶

◀き(聴)き・考え・書き・話す(かかわる)力育成▶

◇ 「目的確認」▶「自己決定(課題・方法)」▶「課題解決(自分で・他者と)」▶「振り返り(内容面・方法面・他者のよさ)」▶「自己更新」を重視した活動展開
◇ 「かかわり方スキル」を高める活動構成 ◇ 子ども主役の活動 ◇ 「困り感」をもつ子への支援(適切なプランニングと援助要請スキル向上)

◆ 体力向上プランに基づく取組と評価
□ 健康・体力づくり、集団づくり
□ 安心・安全の保障
・年間を通じた立腰、○○チャレンジ
※ 児童委員会と連動した取組、『かかわり方スキル』を取り入れた取組に
※ 個の困り感に寄り添った支援の取入れ
・「スポコン広場」登録
・食育、健康・安全教育(ワンヘルス)

◆ 人権教育・発達支持的生徒指導の視点による子ども主体の取組充実
◆ 特別活動・異年齢活動(縦割り活動、保幼・小・中連携、地域連携)を通じての「かかわり方スキル」定着による親和的集団づくり・自己他者肯定感の向上
□ 異年齢活動による自尊感情・他者意識の涵養
・年間を通じた縦割り活動
・地域の「人・もの・こと」、中学生、園児との関わり
◆ 子ども発信の学校づくり・地域づくり
・児童委員会・ウェルビーイングP・KIZUNA会議

◆ 学力向上プランに基づく取組と評価
◆ 自己指導力を高める授業づくり
□ セルフチェックを活用した発達支持的生徒指導の機能をいかす個別最適・協働的な学び
□ 『かかわり方スキル』を高める活動構成
□ 困り感のある子が自ら援助要請できる活動
◆ 同僚性を発揮し、各自の生徒指導力(経営力)と専門性を高める理論に基づいた研修(メンタリング・けやき・一般研)の日常化
□ 理論・ニーズに基づく、持ち味を活かす研修

□ 体力向上プランに基づいた授業改善
□ 年間を通じた立腰、○○チャレンジの実践
・『かかわり方スキル』・『支援プラン』
□ 食、健康・安全、性に関する指導の充実

□ 0-U分析やきめ細かな見取りに基づく親和的な集団育成
□ 学級活動・道徳(自分自身・他者との関わり)の充実
□ 対人スキル定着・向上(ミッション8・かかわり方スキル)
□ ふるさと学習(ワンヘルス)の充実

□ 発達支持的生徒指導の機能をいかす個別最適・協働的な学びづくり(振り返り重視、セルフチェックシート活用、『かかわり方スキル』活用した交流、援助要請ができる活動構成)

【教育課題】① 自己肯定(自己存在感・有用感・有能感)・他者肯定感の涵養
② 主体者意識と他者意識、対人スキルの向上
③ 地域への理解や感謝、進んで関わろうとする態度の育成

【経営課題】① 教職員の人権感覚の涵養と経営力(生徒指導力)・授業力の向上
② 学校総体で子ども・教職員を支える組織体制や対応の継続
③ 子ども主体の教育活動、中学校区連携の教育活動の推進